

海外安全対策情報
2018（平成30）年1月～3月

平成30年4月
在ハンブルク日本国総領事館

1 テロ・治安情勢

（1）当館管轄4州（ハンブルク、ブレーメン、ニーダーザクセン、シュレスヴィヒ・ホルシュタイン）の治安情勢については、各州とも2017年中の犯罪認知件数が前年より減少し、比較的良好に推移しておりますが、各州治安当局はイスラム過激主義者やサラフィストの活動を警戒するとともに、独国内外の首脳・要人等が参加する大規模行事や観光客等が多く集まるイベント会場におけるテロ対策を強化しており、依然としてテロ等の脅威に対する注意が必要です。

今後、ハンブルク港誕生祭（Hafengeburtstag Hamburg 2018）やハンブルク花火大会、キーラーヴォッヘ（Kieler Woche）等のイベントが予定されておりますが、これらイベントの参加者を狙ったテロには十分注意いただき、テロの標的となりやすい会場等を訪れる際には、安全対策に万全を期してください。

（2）当館管轄4州では、国際情勢や政治情勢等に応じてデモや抗議活動が行われることがあります。こうしたデモ等については参加者の一部が暴徒化するおそれがあるため、デモ等に遭遇した場合には速やかにその場を離れるなど、ご自身の安全を確保するようにしてください。特にメーデー（5月1日）には、例年各地で比較的大きなデモや集会等が行われており、注意が必要です。

2 一般犯罪情勢

ホテル、レストラン、駅、見本市（メッセ）会場等において、すり、置引き等の窃盗被害が多発しておりますので、所持品・貴重品の管理には十分注意してください。また、空き巣被害にも注意が必要です。外出される際には、自宅の戸締まりを必ず行うとともに、外観上留守宅に見えない工夫を心がけてください（電気の点灯等）。

3 凶悪犯罪発生状況

邦人被害の事件の発生は、認知しておりません。

4 テロ・爆弾事件発生状況

テロ・爆弾事件の発生は、認知しておりません。

5 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人被害の事件の発生は、認知しておりません。

6 日系企業の安全に係る諸問題

具体的情報は認知しておりません。